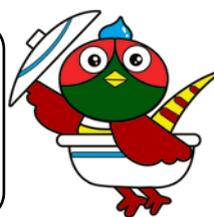




# 図書室だより



No. 14 回覧  
発行・編集  
鬼北町中央公民館

中央公民館の図書室は、子育て支援の一環として、幼児の絵本や小学生向けの本、子育て中のお母さんに役立つ育児の本など、話題の本を多数取り揃えています。また、インターネットのできるパソコンもありますので、学習活動にぜひ中央公民館図書室をご利用ください。

.....【利用案内】.....

開館日：火曜日から土曜日

時間：午前10時30分から午後6時30分まで

定休日：日曜日・月曜日・年末年始

貸出：1人 3冊まで 2週間借りられます。

4月



こどもの読書週間  
開始(～5月12日まで)

日	月	火	水	木	金	土
			1	5	6	7
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

～お知らせ～



4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」に合わせて、図書室では昨年好評だった「本でつながろう！しりとり大作戦」第2弾を実施します。詳しくはウラ面を見てね☆



## おすすめの本



○「鬼のおくりもの」文：榊形浩人 絵：にのみやなつみ

鬼北町観光特使の榊形浩人さんが書いた物語に、ほのぼのとした可愛らしい絵で彩を添えるのは、本町出身の、にのみやなつみさん。強く優しい“鬼王丸”の温かくてちょっとせつない物語です。



○「ごきげんななめの てんとうむし」絵：エリック・カール

小さなてんとう虫は、自分に自信がありません。だから、自分の存在が大きく見えるようにと、いつも威張ってしまい、相手にけんかを売り込みます。大胆な画面構成とユーモアあふれる文章が魅力の絵本です。

○「あさになったので まどをあけますよ」作：荒井良二

朝、目覚めて窓を開ける、という何気ない日常と、窓の外に広がる当たり前の風景。けれども、その日常の繰り返しのうちにこそ、生きる喜び、そして確かな希望があることを、そっと気づかせてくれます。



○「地方消滅」編著：増田寛也

このままでは896の自治体が消滅しかねない。豊富なデータをもとに日本の未来図を描き出し、地方に人々がとどまり、希望どおりに子どもを持つ社会へ変わるための戦略を考える一冊です。

裏面へ

## 「こどもの読書週間」について

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

本はキラキラ万華鏡



図書室では、こどもの読書週間に合わせて、

## 『本でつながろう！～しりとり大作戦～』

### 第2弾 を実施します。

本のタイトルがしりとりで繋がるように、利用者の皆さんに選んでいただき、写真を撮って図書室内に貼り出していきます。図書室の中が、利用者の方々のたくさんの笑顔で溢れる、楽しい企画です♪

友達や知り合いの人の笑顔を探しに、ぜひ図書室へ遊びに来て下さい！

(例)

おつきさま こんばんは



はらぺこ あおむし



しろくまちゃんの  
ほっとけーき



※写真は1人で写っても、親子で写っても、たくさんの友達と写っても構いません☆